

高齡社会実践看護学講座（指導教員：正木治恵）で 大学院生が取り組んだ研究課題名についてご紹介します。

<博士論文（令和3年度）>

- 集中治療室における終末期高齡患者のcomfortに着目した意思決定支援ガイドの開発
- 一般病棟の看護師の感情を手がかりとした認知症ケア困難場面ワークシートの開発
- 高齡者の過去の背景を活かした看護に関する情報共有ツールの開発—個別性のある看護の展開に向けて—
- Development of a nurse-led supportive care program for Chinese women with newly diagnosed breast cancer undergoing chemotherapy

<修士論文（令和2年度）>

- 日本の病院における高齡者のエンドオブライフケア質評価票の作成
- 成年後見人の権利擁護場面での困難感
- 認知症を有する高齡者が訪問看護師との相互作用を通して表出する自我発達の様相



取り組んでいる研究： 正木 治恵

治癒することのない病いを持つ人に他の者は何ができるのだろうかと模索した時、「看護学」に出逢いました。そこから、老いや病いと向き合い生きていくことを支援する看護の教育・研究に取り組んでいます。文化に着目した看護実践の研究にも着手しています。

取得した文科科学研究費

- 基盤研究(A)：リアルタイム生活情報のAI 解析による革新的高齢者ケア改善システムの確立
- 基盤研究(A)：高齢者ケアの継続・連携に関する質指標開発とシステム構築
- 基盤研究(B)：高齢者の豊かな最晩年を創出する終末期ケア質指標の開発
- 挑戦的萌芽研究：看護できる身体づくりー高齢者ケアにおける看護情報をつかむための身体活用プロセス

編集・執筆した教科書

- 看護学テキストNiCE 老年看護学概論「老いを生きる」を支えることは(改訂第3版), 南江堂, 2020.
- パーフェクト臨床実習ガイド 老年看護実習ガイド(第2版)、照林社、2017.
- 看護学テキストNiCE 国際看護 国際社会の中で看護の力を発揮するために、南江堂, 2019.

